

アジアの友

The Asia-no Tomo

4-5

APRIL-MAY

2011

大震災 その被災地を訪ねて — 救援、取材… 留学生たちの体験談 —



ABK
Est. 1996 C.R.O.

アジア学生文化協会日本語コース
Asian Students Cultural Association



また会うときも日本語で！

ABK 日本語コース 2010 年度修了式

2011 年 3 月 3 日 文京シビック小ホール（進学課程）

3 月 18 日 アジア文化会館（専修課程）



月刊 アジアの友

2011年4-5月号 第490号

日本語コース修了式

今年は会場の都合で、進学課程〈3月3日、文京シビック小ホール〉と専修課程〈3月18日、ABK〉の2回に分けて行われました。3月3日の進学課程の修了生は13ヶ国・地域160名。小木曾校長より一人一人に修了証書が授与されました。また、褒賞として、特別皆勤賞（1年6ヶ月間の出席率100%）=13名、皆勤賞（1年間の出席率100%）=23名、最優秀賞（日本留学試験日本語全国1位=3名、日本語能力試験、日本留学試験理系合計、物理、文系合計、数学コース1全国1位、学内修了試験1位=各1名）、飛躍賞=1名が授与されました。

3月18日の専修課程の終了式は、修了生14ヶ国・地域133名の予定のところ、直前に起こった東日本大震災の結果、大多数の学生が帰国し修了式出席者が約30名になったため、会場を急遽ABKに変更して行われました。修了者には、小木曾校長より修了証書が授与され、褒賞として、皆勤賞6名、精勤賞3名、最優秀賞（学内修了試験1位=1名）、飛躍賞=1名が授与されました。

目次

- 2 **ご挨拶** （財）アジア学生文化協会 理事長 小木曾 友
- 3 **巻頭**
大震災 その被災地を訪ねて
救援、取材…留学生たちの体験談
「愛と決意の救援活動」 モッハマド アスリさん
「避難所に学んだ日々」 ゲン クワン フンさん
「ボランティア 今できること」 許 真さん
- 16 **東日本大震災 関係者からのお見舞いの言葉**
- 21 **留学生の就活Ⅴ**
「株式会社パソナ」
- 27 **知友会通信** 奨学金情報、イベント情報
- 28 **MEMBERS** ご入会・ご寄付のご報告
- 29 **募金途中報告**
ABK 同窓生募金（2011年3月31日現在）
募金に関するメール

＜表紙写真＞ 日本語コース修了式で、小木曾校長より修了証書を授与される王聡 (Wang Cong) さん (D1 クラス)

ご挨拶

このたびの東日本大震災で被災されたすべての方々に対し心からお見舞い申し上げ、亡くなられた方々へ深い哀悼の意を捧げます。

ABKもこれまでに経験したことのない激しい揺れに見舞われましたが、幸い、新星学寮および付設の学生寮も含め、留学生にも教職員にも、また建物にも被害はなく、全員無事でした。ただ、福島原発事故による放射能が東京にも降るのではないかと、この恐れから地震発生の直後に、日本語学校在学中の学生がほとんど帰国し、また、4月初来日予定の新入生の大量のキャンセルが予想されたため、入学式を5月初に延期するなどの緊急措置を講じましたが、帰国者の再来日の減少、新入生のキャンセルの増加など、これからのABKの運営には厳しい前途が待ち受けているものと覚悟いたしました。

しかし、今日（4月20日）現在、新入生108名（160名の内）、在学生74名（117名の内）、合計182名（277名の内、65.7%）が来日予定、17名が10月入学へ延期との確認を得ることができました。まだまだ予断は許しませんが、この結果は、事故後1ヶ月余りたって、東京を中心とする関東地方の放射線レベルがほぼ震災前のレベルに戻っていること、近県の水道水摂取制限・野菜出荷制限が解除されたこと、事故を収束させる工程表が発表されたこと、世界の主な国々の日本への渡航制限が解除されたこと等によるものと思われます。

地震と津波で壊滅的な被害を受けた東北地方の被災地では、既に少しずつ復興の歩みが始まっています。1945年の敗戦直後の焼け野原から立ち上がって、今日の一流国日本を作り上げた日本人の底力はまだまだ健在です。このような日本人たちと一緒に日本で生活し勉強することは、なお、発展途上にあるアジアの留学生の皆さんにとっても決して小さくない意義があると私は確信しています。

原発事故の一刻も早い収束を心から願いつつ。

2011年4月20日

（財）アジア学生文化協会
理事長 小木曾 友

大震災 その被災地を訪ねて

— 救援、取材… 留学生たちの体験談 —

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震。その揺れは東日本に暮らす多くの日本人にとって、それまでに体験したことのない巨大なものだった。さらに地震により発生した津波による被害は想像を絶するものであり、今現在もその傷跡の全容ははっきりしていない。そんな震災間も無い被災地をそれぞれの役割を担って訪れた3人の留学生に、その体験談を語ってもらった。

愛と決意の救援活動

モッハマド アスリさん（インドネシア）

東京工業大 理工学大学院集積システム専攻（修士課程）

東日本大震災の被災者救援のため、インドネシアから駆けつけたレスキュー隊の通訳として被災地に向かったインドネシアのモッハマド・アスリさん。3月19日から4日間、これまでの留学生活の中でも貴重な経験となる愛と決意に溢れた救援活動を体験した。

【編集部】 今回はどのような経緯で被災地に行くことになったのでしょうか。

【アスリ】 インドネシアから軍のレスキュー隊が来日することになり、彼らの通訳として同行するよう駐日インドネシア大使から頼まれたからです。

【編集部】 被災地では具体的には何をしましたか。

【アスリ】 レスキュー隊と各避難所を回って、インドネシア人がいるか否かを確認することと、食料が不足している避難所に食料を渡すこと。また被災地からの避難を希望するイン



ドネシア人を大使館が用意するバスで東京の避難所に送ることをしました。

【編集部】 東京では被災者をどこに避難させたのでしょうか。

【アスリ】 目黒のインドネシア人学校がイン

ドネシア人の避難場所になっており、多いときには150人くらいの人が集まって来ていました。ほとんどは大使館が送迎バスを出すという情報を知って、仙台や福島などの都市圏から避難してきた人たちです。彼らのほとんどは帰国しましたが、そのまま日本に残った人もいます。

【編集部】 仙台のインドネシア人はどのような人が多いのでしょうか。

【アスリ】 東北大学の留学生が多く、ほかは研修生などですね。東北大学には80人ほどのインドネシア人が在籍しているそうです。ほかに日本人の配偶者の方もいました。

【編集部】 それでは具体的にどのように行動したのか教えてください。

【アスリ】 レスキュー隊15人とジャカルタの日本大使館の日本人職員、それから僕ともう1人の通訳の18人が2台の車に分乗し、加えて燃料を積んだ車1台と食料運搬車1台の計4台で、3月19日、東京から気仙沼市に向かいました。気仙沼市でまず市役所に行って避難所のリストをもらい、その日は20ヶ所くらいの避難所を回りました。その中でインドネシア人がいたのは市役所内の避難所だけでした。

【編集部】 避難所にいたのはどのような方々でしたか。

【アスリ】 日本人の配偶者がいる語学講師のインドネシア人女性とその子供たちの5人です。日本人であるご主人は東京には行きたくないということで避難所に残り、女性と子供たちだけを、我々の宿泊施設がとれた一ノ関まで運び、そこから東京まではインドネシア大使館が用意したバスに乗せました。

【編集部】 2日目以降はどうでしたか。

【アスリ】 2日目の20日も気仙沼の避難所を

回りましたが、インドネシア人はいませんでした。当初大使館が収集したデータでは気仙沼市内の避難所にはインドネシア人が合計20～30人はいるはずだったのですが、結局気仙沼で保護できたのは最初の5人だけでした。その後は南三陸町に移動しましたが、そこにもインドネシア人はいませんでした。

3日目の21日に行った石巻市では二班に別れて行動しましたが、鮎川浜の避難所に研修生や船員など15人のインドネシア人がいました。

【編集部】 インドネシアから来たレスキュー隊を見た被災者の方の反応はどうでしたか。

【アスリ】 驚きと喜びの表情で迎えてくれました。思わず抱きついてくる人、泣いてしまった人もいます。

【編集部】 彼らも全員東京に行くことを希望したのでしょうか。

【アスリ】 そうです。東京に避難したあと、希望者はインドネシアに帰国することになるのですが、研修生の中には会社が津波でつぶされてしまい、居続けたくても研修が受けられず帰るしかないという人も大勢いました。

【編集部】 石巻の他の避難所ではインドネシア人はいなかったということですね。

【アスリ】 大使館のデータでは、もう1カ所



の避難所にもいたはずなのですが、僕たちが行った時には既にいませんでした。

【編集部】 インドネシア人の避難者からは避難所にいたときの不安や不満などについて話がありましたか？

【アスリ】 やはり日本語が出来ない人が多いので、周りで何が起きているか分からない、これからどうなるか分からないということが非常に不安だったということです。ただ研修先の会社の人は、食料を持ってきてくれたり、様子を見に来てくれたりと面倒を見てくれていたようです。また、避難所では差別されることもなく、優しく接してもらったと言っていました。あと、当初は食料が足りないところが多かったようです。昼ご飯もパン一つとバナナ一つだけとか。

【編集部】 みなさんが避難所に運んだ食料には限りがあると思いますが、どのように配分を決めておいたのでしょうか。

【アスリ】 実は決める必要がなかったんです。というのは、ほとんどの避難所は食料の受け取りの体制がすでにできており、決められたルート以外からは受け取らないという所が多かったためです。

結局食料を降ろせた避難所は全体の1～2割で、半分くらいは余ってしまいました。避難所のシステムを否定するわけではないのですが、もっと柔軟に対応して欲しかったです。せっかく持って行ったので、至少くらは受け取ってくれば嬉しかったなあというのが正直な気持ちです。

【編集部】 街の惨状は想像していた以上のものでしたか。

【アスリ】 そうですね。僕らが行った地域は被害が酷いところで、ほとんどの家は原形を



留めていませんでした。僕はそんな風景を横目に、その道を通ることさえ申し訳ない、気まずいという気持ちがありました。

【編集部】 レスキュー隊は被災地でのがれき撤去や搜索活動などはされなかったのでしょうか。

【アスリ】 実はレスキュー隊は元々、家屋の倒壊現場で生存者の搜索や遺体の発見などをする予定で来日したのですが、来日後に大使館と日本の外務省が行ったブリーフィングの中で、現場での搜索活動は出来ないということがわかり、結局彼らは本来の活動をする事ができませんでした。

【編集部】 なぜ搜索活動はできなかったのでしょうか。

【アスリ】 はっきりとした理由は分かりません。インドネシア側としては日本にはスマトラ沖地震の時に大変お世話になったこともあり、純粋に一刻も早い援助をという気持ちでレスキュー隊を送ってきたわけです。ですから日本政府は各国の支援を受入れる前に、何が良くて何がダメなのかということ、をはっきりと分かりやすく示してくれると、活動がもっと有効に行われたのではないかと思います。

【編集部】 事情があったとは思いますが、気



持ちを裏切るような結果になってしまい、本当に申し訳なかったですね。では、避難所で印象的だったことはありますか。

【アスリ】 みなさん大変なはずなんですが、あまりそういう表情を見せなくて、お互いに助け合う姿というのが非常に印象的でした。例えば子どもがおばあちゃんやお母さんをマッサージしていたり。それはとても感動的な光景でした。あとはみんなで楽しそうに料理を作ったりしていましたが、凄いなあと感心しました。

もちろん良い面だけではなく、当時の仮設トイレは水がなくて流せない、紙もないという状態でした。また、家族が亡くなった人はストレスが溜まるらしく、大声で叫んでいる人がいたり、避難所のスタッフに俺の子どもはどこにいるんだと詰め寄っている人もいて、明らかに日常ではないということを痛感しました。

【編集部】 現地に行かれて学んだことはありますか。

【アスリ】 大変な時こそ、お互いが助け合って協力すること。それが何より大事なことですね。実際に、狭い避難所の中でお互いに譲り合って生活する人たちの姿を見て、



とても素敵だなと思いました。みながずっとこうした気持ちを持って生きて行けば、日本は必ず立ち直れると思います。

【編集部】 今回は大使から直接の依頼で行かれたということでしたね。

【アスリ】 たまたま大使と知り合いだったということで声をかけていただき、良い経験ができました。実は大使も3日目に石巻に来たんです。そして被災したインドネシア人に「これから帰れますよ」「大丈夫ですよ」と声をかけて励ましていました。その姿には本当に感心しましたね。

今回のインドネシア大使館の対応は他国に比べてとても速かったと思います。大使がかなり決断力のある人で、この大変な時期をいかに正確かつ早く乗り越えるかということを目指に、冷静に考え、暖かい行動に移したのだと僕は思います。大使がそうした行動力を示すことで、下のスタッフも一生懸命仕事をする気になる。今回はリーダーシップの大切さも学ぶことができました。

【編集部】 ありがとうございます。

避難所に学んだ日々

グエン クワン フンさん (ベトナム)

東京工業大学大学院 理工学研究科 電気電子工学専攻 (修士課程)

ドンズー留学生会*会長のグエン・クワン・フンさんは、東日本大震災の取材で来日したベトナム人新聞記者の通訳として取材に同行し、被災地域を訪ねた。



ら東京までの送迎バスを出すという情報をネットや電話などで流したんです。それが口コミで広がり、集まりました。ただし、大使館は日本にいるベトナム人全員の所在を把握しているわけではないので、中には連絡が届かない人もいました。

【編集部】 今回の日本の震災についてベトナムではどのような報道がされていたのでしょうか。

【フン】 放射能汚染がひどいという話ばかりされていて、具体的にどういう基準に基づいてどのくらいひどいのか、それがどの場所で測定された数値なのかという説明はないようです。たしかに原発の真上の放射能レベルは平常時の何万倍でしょうけど、東京はまったく違う。でもそういう説明はなく、ただセンセーショナルに報道しているという感じです。

ドンズー留学生会としてはこうした事情を分かっていますから、万が一の場合はすぐに帰れるように準備をするよう指示を出す一方で、日本の報道をもとに正確な情報を流すようにしていました。特に日本語学校生はまだ日本語をよく理解できませんから、情報はほとんどベトナムのメディアから得ています。

【編集部】 今回の取材の行程を教えてください。

【フン】 取材に同行したのは3月19日から26日までの7日間でした。まずは東京から入り、茨城、仙台市、石巻市、福島市と回りました。19日は毎日新聞社の方と一緒に東京周辺を回りました。主にベトナム大使館が用意した避難所である東京・芝公園の日新窟寺（芝公園）に行き、避難しているベトナム人と寺の住職の方から話を聞きました。お寺には東北大学のベトナム人留学生を中心に80人程が避難していました。

【編集部】 留学生たちはどうやって避難所のことを知ったのでしょうか。

【フン】 大使館が避難所の情報と、福島駅か

ですから先輩である私たちが、彼らに正確なニュースを伝えるよう努めました。

【編集部】 ドンズー留学生会のメンバーで帰国した人はいますか。

【フン】 日本語学校生で言うと、東京では1人しか帰国していませんが、盛岡は40人程が帰国してしまい、残ったのは3人だけです。大学生は東北大、福島大、宮城大の学生は全員帰国しましたが、後の東北・茨城地域の学生は半分程が残りました。中には親の意向で半強制的に帰国させられた人もいますが、ほとんどの学生は帰国するつもりはなかったようです。ただ、震災の影響でバイトがない、余震も時々あり、授業の開始も遅くなったので、それなら親を安心させるためにも帰国した方がいいということですね。また、ベトナム大使館は「万が一の時、日本人は自分たちのことで精一杯で、あなたたちを守ってくれる余裕はない」というメッセージを流したので、帰国に傾いた学生もいたようです。ですから、実際に原発や地震が怖くて帰ったという人は1/3くらいだと思います。

【編集部】 避難者には研修生の方もいましたか？

【フン】 多くはありませんがいました。彼らは留学生以上に困っていました。それは日本に来るためにたくさんの借金をしているからです。つまり、今回の地震で帰国したらその借金だけが残ってしまう。しかし、ベトナムのメディアは日本の被害を拡大して酷い状況



折り紙。鶴を折ることで辛いことも忘れられる

ばかり報道していました。特に原発については正確な情報が流れておらず、みな怖がってしまい、結局帰国する道を選んでしまう。その話は聞いていて辛かったですね。会社が無事だった人は本当に迷っていて、ベトナムの報道に惑わされているという印象でした。

【編集部】 ほかに日新富士の避難所で印象的だったことはありますか？

【フン】 印象的だったのはそこでボランティアをしていた東大の学生のことです。岩手県大槌町にある東大の研究所（大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター）の博士課程学生である彼は、研究中に地震と津波の被害に遭い、本当に死にそうになりながら、なんとか高台に逃げて助かったそうです。そして、東京に戻ってベトナム人の避難所のことを知り、友人に呼びかけてそこでボランティアのチームを作ったんです。彼らは避難者の普段の世話はもちろん、帰国のための航空券の手配もしてあげるなど、献身的な活躍をしてお

※ ドンズー留学生会・ベトナム・ホーチミン市にあるドンズー日本語学校から、現在日本に留学をしている学生の会。2011年4月現在日本で学ぶ学生数はおよそ600人。ドンズー日本語学校は元日本留学生であるグエン・ドク・ホエ氏が祖国発展のため日本から科学技術を入れたいと願い、そのための日本語教育を行うために設立した。多くの日本語学習者を育てるとともに、将来の国づくりに尽力する人材を育成するため、これまで1000人以上の留学生を日本に送り出している。



避難所では子供たちにも役割が与えられている

り、その姿は印象的でした。

つまり避難所ではベトナム人避難者同士が助け合って過していたわけですが、一方で大使館は避難所を用意するだけでなく、もう少しできることがあったのではないかと思います。

【編集部】では20日の行動を聞かせて下さい。

【フン】20日は茨城県へ行き、水戸市周辺を回りました。水戸も海沿いは津波の被害が酷く船が全て陸に上がってしまっているような状態でしたが、工事関係者が入ってかなり速いスピードで復興が進められているという印象でした。午後には茨城県産ほうれん草の放射能数値が基準値を超えたという情報を得たので、農家やJAを訪ねて話を聞きました。その後は福島第一原発から80キロのところにある北茨城へ移動し、福島からの避難民がいる避難所などを取材をして、その日の夜東京に戻りました。

北茨城の避難所は、一番多かった時で5000人の避難者がいたということですが、そこでは素晴らしい地域の助け合いが行われていました。例えば近隣のホテルや温泉、リゾート施設、スーパーなど、食料を持っている団体が協力して、物資が次々と避難所に提供され

ていました。

【編集部】21日以降はどうでしたか。

【フン】21日からは毎日新聞の方と別れて、仙台に向かいました。本当は前夜の夜行バスをとりたかったのですが、チケットは全て売り切れで、結局その日は1日中バスの中で過すことになりました。ただバスの中ではフランスの新聞社のピアさんという方と知り合いになることができて有意義な時間を過ごしました。彼はすごく面白い人で、世界のいろいろな紛争地・被災地を回っていて、たくさんの経験談を話してくれました。

その夜はピアさんと一緒に仙台駅近辺の様子を見て歩いたのですが、目に見えるような大きな被害はほとんどありませんでした。また、開いているコンビニも多く、食料品の販売もしていました。ホテルもいくつかは営業していたのですが、全て満室で、その夜はたまたま見つけたお寺にお願いをして泊まらせていただきました。

翌22日はNHKで働いているベトナム人から仙台のNPO法人の方を紹介してもらい、その方の車で石巻まで連れて行ってもらいました。石巻は多くの地域が壊滅的な被害を受けていました。

その夜も宿泊先を決めていなかったのですが、ピアさんがバスの中で知りあった日本人と取材中偶然再会し、その方の親戚の家に泊めてもらうことができました。その方は香港で仕事をしているのですが、奥さんのお母さんが石巻で被災して親戚の家に身を寄せているということで、様子を見に来たということでした。私たちは泊めていただいただけでなく、ご家族から震災当時の話も聞けたので本



ベトナム人記者と避難所リーダーの高橋さん

当にラッキーでした。

23日は遺体の仮土葬をする現場を見てから、いくつかの避難所を回りました。そして午後にはさらに北上して被害がかなり酷かった旧北上町（2005年に石巻市と合併）に移動しました。移動は車が無いので、ヒッチハイクをしました。旧北上町は、高台の3つの集落を残して90%が消失しており、町の面影は残っていませんでした。

私たちの希望としては、夜は避難所に泊まりたかったのですが、その時石巻市で銀行とATMを狙った外国人の窃盗団が出たという話があって、外国人に対する警戒心が避難所の中にありました。特に被災者は物理的にも精神的にも大きな負担を抱えていて、夜私たちが避難所にいるとゆっくり休めない人もいます。それは私たちにとってもよくないということで、そこに泊まるのは断念しました。ただ、役所の方が避難所のそばにある別の建物を紹介してくれたので、そこで寝ることができました。

もちろん日中には避難所の中でインタビュー

ーをして被災者の方とコミュニケーションはとっていたのですが、やはり今はみな普通の精神状態ではないということもあり、そうしたことは私たちも理解できました。

翌24日も旧北上町で取材をしていたのですが、午後にベトナムの新聞社から原発に関する取材をするようにという新しい指令が来たので、気仙沼に向かう予定を変更して、またヒッチハイクで仙台に戻りました。

25日は仙台からバスで福島市に移動しました。福島では一般の市民とレストランを経営する人、野菜を販売している所などで取材を行いました。みなさん困っていましたが、自分たちにはどうすることもできないといった声がほとんどでした。また、今できることについては冷静に考えて、正確な情報をしっかりつかむことだと言っていました。2日間そういった取材をして、26日の午後には東京に戻ってきました。

【編集部】 全体的に避難所の様子はどうか？

【フン】 混乱している様子はほとんどありませんでした。みんな落ち着いていて我慢しながら何とか現状を乗り越えようと努力している。そんな気持ちが伝わってきました。

【編集部】 石巻市街や旧北上町は見渡す限り破壊されているという印象でしょうか。

【フン】 そうです。私たちが現地に行って、町はどこですか？と聞くと、町はもうありませんという答えが返ってくるほど、破壊されていました。家屋も屋根が残っているのは非

常に少なく、ほとんどが原形を留めていない、バラバラになっている。鉄の大きな橋が、そのまま300メートルも流されているなど、普通なら考えられない光景が広がっていました。

旧河北町の小学校では108人の子供たちのうちほとんどが津波で亡くなったそうです。生き残った子どものうちの1人はたまたまお母さんが仕事

を休んでいて、地震のあとすぐ自分の子どもを迎えに行き、車にで高台に逃げたそうです。その直後に津波が来て、学校全体が流されたということでした。海岸線から離れたところでも、津波は川に流れ込んでそこから川沿いの街を襲いました。川沿いの人は、まさか津波が来るとは思ってなかった。予測できない波が押し寄せたということです。

また気仙沼の被災地域は地震で地面が陥没したところに津波が来ていますから、未だに水が引かずに残っていて、以前と同じような町の姿になるまでには相当な時間がかかるのではないのでしょうか。

【編集部】 避難所の人はインタビューに積極的に答えてくれましたか？

【フン】 みなさん積極的に答えてくれました。ただ、被災した人に辛いことを語らせ、思い出させたくはなかったのです、その辺は気を使いました。例えば最初は天気の話や、食事の話などからはじめて、だんだんと親しくなっ



避難所（日新窟寺）にて。ご住職（手前右）、ベトナム人避難者のみなさんと。手前左がフンさん

てくと被災当日の細かい話などもしてくれるという感じです。

【編集部】 今回、現地に行かれてみてどのように感じたか教えてください。

【フン】 本当にこういう時はみんなが互いに助け合いをすること、冷静に行動することが大事なんだということを学びました。また、15ヶ所くらいの避難所を回りましたが、どんな避難所にも必ずリーダー的役割を担ってる人がいました。彼らは避難所の人たちに仕事や役割を与えて、被災者の心が折れてしまうのを防ぎ、避難所を活気あるものにすることを心がけていました。

特に印象的だったのが、石巻市内の高校の体育館にある避難所です。そこには150人ほどの被災者がいるのですが、その避難所をまとめている高橋さんという方はとても素晴らしい人でした。

彼はまず、子どもを大切にすることが重要だと話しました。避難所には多くの人がいま

すから、一人一人のスペースは決して十分とはいえないのですが、大人たちが狭い思いをしても、ちゃんと子どもたちが遊ぶためのスペースが作ってある。そこで子供たちは遊ぶわけですが、無制限にということではなくて、きちんと時間を決めて遊ばせる。避難場所は学校で、本もたくさんありますから、読書や勉強の時間もしっかり作る。避難をしている間もただそこで過すのではなく、子供たちが遊び学ぶ時間を設けてあげる。また、子供たちにも役割を与え、例えば食事の盛りつけを任せるなど、みな平等であるということを意識させる。そうすることで子供たちはとてもしっかりするそうです。子どもがしっかりすると大人もしっかりせざるをえませんから、良い相乗効果が生まれると言っていました。

また、時間はたくさんあるので、たまに折り紙をする。折り紙そのものに意味はあまりないそうですが、折り紙に集中することで、震災時の辛い思い出や、苦しいことを考えないですむようになるということでした。

それからこれは今回の震災のことからは外れてしましますが、もう一つ学んだことがあります。石巻市に行った時、お年寄りたちが浸水した家の中で一生懸命何かを探していました。それは写真やアルバムです。たしかに避難所の中を眺めると、ほとんどの人がアルバムや家族の写真を傍らに置いていました。

お金も家族も家も無くしてしまった人が大勢いると思います。でも思い出は必ず残るんですね。だからお年寄りたちは一生懸命記念になるものを探し出して、それを避難所に持ち帰っているんです。それを見たときはとても感慨深い気持ちになりました。年をとった

時に何が一番大切に思えるのか。それはお金でも地位でもなく、思い出なんですね。自分も1日1日を大切に生きて、思い出いっぱいの人生が送ればいいなと思ったんですね。

【編集部】 ベトナムの記者の方が帰国した後、記者の書いた新聞記事を読みましたか？

【フン】 彼女は毎日日本のことを書いていますが、いろいろと事情があって、なかなか書きたいことは書けないようです。そこで彼女は新聞には書けない日本の真実を、個人の見解としてフェイスブックで書いています。

彼女が強く持った日本の印象は、日本人は大災害の後なのに、すごく落ち着いていて、みんなで一緒に被害を乗り越えようとする意識が高いということでした。原発も日本のニュースをよく聞いてみれば、海外で報じられているほど恐ろしくはないと言っていました。

【編集部】 今回の震災の影響でベトナム人の日本留学は減ると思いますか？

【フン】 かなり減ると思います。もし私が今年4月から入学する予定だったら、やはり日本には行きたがらないですね。私の友達に今岩手大学で勉強をしているベトナム人がいますが、原発の問題で親からもう大学には行かなくていい、ベトナムの大学に転校しろと言われているそうです。原発の問題が長引けば、今すでに日本の学校で学んでいる学生の中にも、家族の意向で帰国を考える人は増えるのではないのでしょうか。

【編集部】 日本に将来をかけて留学してくれたみなさんのためにも、一刻も早く問題を終息させなければなりませんね。ありがとうございました。

ボランティア 今できること

許 真 (ホ・ジン) さん (韓国)

桜美林大学大学院 国際学研究科 国際協力専攻 (博士課程)

許真さんは4月17日から20日の日程で、仙台の被災地に出かけ、主に沿岸部の被害の大きかった民家にて清掃などのボランティアを活動を行った。

【編集部】 なぜボランティア活動に参加してみようと思ったのでしょうか。

【許】 私は途上国支援について勉強しているため、ボランティア活動はとても身近なものです。しかも遠い国の出来事ではなくて、私が住む日本が被災地ですから、時間を作って行きたいと思っていました。

【編集部】 現地にはどのようなかたちで行ったのでしょうか。

【許】 大学の先生から仙台にある日本キリスト教団・東北教区センター・エマオが組織したボランティアセンター（東北教区被災者支援センター）を紹介してもらい、そこに登録・参加をしました。

【編集部】 ではどこで、どのような作業をしたのでしょうか。

【許】 作業をしたところは仙台の沿岸部の若林区というところで、農家などの民家で主に泥出しの作業をしました。

【編集部】 ボランティアは何人くらいいたのでしょうか。またどのような人たちでしたか。

【許】 全部で30人ほどです。それが7～8人ずつの7グループに分かれて、各家庭に入りました。ボランティアスタッフはほとんど教団とは関係のない人たちで、みんなインターネットでこのセンターを探し当てて来ている



ようでした。ボランティアは高校生から社会人まで、幅広い年齢層の方がいました。留学生も私以外に1人、東京大学のマレーシア人がいて、25日間そこで作業をする予定だということでした。

【編集部】 宿泊する場所もあるのですか？

【許】 寝袋が必要ですが、センターの施設に泊まります。また、1日300円出せば、食事も出してもらえるので、そういったところはボランティア初心者にも参加しやすいと思います。お昼ご飯も朝みんなでおにぎりを作って、現場に持って行っていました。

【編集部】 寝袋以外にどのようなものを用意

ボランティア活動について	
《基本的なタイムテーブル（ご参考）》	
7:30頃	朝食（8:00までに各自で済ませてください）
8:30*	エマオに集合（来訪者ノート、昼食・夕食希望を記入） ※集合時間はワークにより異なります。 事前にお知らせできない場合には、メールで連絡します。 （携帯電話のメールアドレスを提出してください。）
12:00頃	昼食（ワークの方は昼食（おにぎり）を持って向かいます）
15:00頃	ワーク終了 ※エマオに戻った方からボランティア活動日誌を記入してください。
16:00頃	エマオで報告ミーティング
16:30	小グループでの分かち合い（青年のみ）
17:00	解散
18:30頃	夕食

ボランティア活動 1日のスケジュール

して行きましたか。

【許】 長靴や手袋、作業着など、作業中に身に付けるものは自分で用意しなければなりませんでした。それからボランティアセンターの方針で、ボランティア保険（約600円／年）にも入って行きました。

【編集部】 実際に作業を行ってみてどうでしたか。

【許】 泥を出す、というのは簡単そうなのですが、実際庭などは泥と元の土の境界がどこまでかわからなくて、かなり戸惑いました（笑）。家の中も2メートル近くの高さまで泥水に浸かったようで、電気製品は使えなくなってますし、タンスの引き出しなども泥で開かなくなっていました。庭も泥と一緒に流れてきたゴミなどが溜まってめちゃくちゃでした。

【編集部】 簡単には終わらないということですね。

【許】 そうです。でも教会の牧師さんに言われたのは、この活動は“スローワーク”だということでした。今私たちに必要なのは仕事をバリバリこなすことではなくて、ゆっくり作業をしながら被災者の話を聞いてあげることだと。私が行ったある農家のお宅は、ご主人が震災の影響で亡くなっていて、おばさん

と息子さんの2人暮らしだったのですが、おばさんは大変な状況にあることを感じさせない笑顔で自分がお嫁に来たときの話をしてくれました。牧師さんの言うスローワークの意味はそういうことなんですね。

【編集部】 日本人とボランティア活動を行って、何か新しい発見はありましたか。

【許】 少し驚いたのは、活動から帰るとすぐ、その日のことを振り返るディスカッションをすることでした。教団関連の大学生が中心になって行うのですが、その日感じたこととか改善したいことなどを、意見を出して話し合うんです。みんなすごくしっかりしていて、自分の考えをはっきり発言している。日本人はすごくシャイだと思っていたので、それは新しい発見でした。私は国際協力を勉強している学生として、そういった姿はとても勉強になりました。また、そういう行動力や考え方などは、教団で学んだものから来るものが少なからずあると思います。私は宗教にはまったく関心が無かったのですが、良い意味で宗教の力というものも感じました。

【編集部】 実際に被災地を見て、どう感じましたか。

【許】 私は地震のないところで育って来ましたから、本当の地震の怖さが分かりませんでした。3月11日の地震の時も、揺れはすごいとは思いましたが、「怖い」とは思わなかったんです。でも今回被災現場に行ってみて、本当に地震は恐ろしいものなんだということを実感しました。私の今回のボランティアは4日間だけでしたが、復興にはまだまだ長い時間がかかるはずです。これからも機会を見つけ

ては現地に通いたいと思っています。

【編集部】 許さんにとってボランティアとはどのようなものですか。

【許】 以前アメリカ人の友人が私に言ったことがあるのですが、ボランティアは「誰かの力になりたい」、「自分が助けてあげる」という大袈裟なものではなくて、もっと当たり前のもの。自分が明日被災者になってもおかしくない。だから今ボランティアをするんだと言っていました、私もその通りだと思っています。

【編集部】 他の留学生に対してメッセージはありますか。

【許】 仙台ではよく「留学生はみんな帰国し

ちゃったでしょ」と言われました。留学生はあつという間に日本から逃げてしまったという印象を持っている日本人が多いんです。だから私には「ここまで来てくれてありがとう」と感謝してくれて、それは嬉しかったのですが、私の周りの留学生の中にも自分ができることを探している人が大勢います。だから今度は彼らと一緒に被災地に行きたい。留学生の中にはボランティアというものがどういものか分からない人も多いので、少しでも関心がある人には「一緒に行きましょう」と声をかけたいですね。

【編集部】 ぜひ被災地と留学生の懸け橋になってください。ありがとうございました。

日本は大丈夫！

陳 少明（タン サウ ミン）さん 東京理科大学 工学部第一部工業化学科 4年生

地震の時は大学の研究室にいたのですが、1階だったせいか物が落ちてくるなどの被害はほとんどありませんでした。その時は「大きな地震だったなあ」、程度に思っていたのですが、電車が止まっており、学校のある飯田橋から寮のある日暮里まで歩いて帰ることになった時は、大変なことが起きたんだと思いました。

ただ、そんな状況でもバスや公衆電話の順番をきちんと並んで待っている日本人を見て、日本人はどんな時でも日本人なんだなあと安心できたんです。

その後の原発事故について、当初マレーシアでは大袈裟とも思える報道がされていました。その影響で日本から輸出されるもの全てが放射能で汚染されて

いるとか、東南アジアまで放射能がくるといった噂が広がっています。日本に来たことのないマレーシア人は東京と福島の間隔がわかりませんから日本全部が危険だと思っている。

僕は春休みだったことと家族の希望で一時帰国をしましたが、親は僕が日本に戻ることに猛反対しました。でも僕は早く研究に戻りたかったので、大学が始まる4月の初めには日本に戻ってきました。

僕は5年間日本に住んでいて、日本は安全なところだと思っているので心配していません。もしまた大地震が来ても、東京の建物は簡単に崩れることはないでしょう。だから今留学生が一番心配しているのは放射能です。放射能物質は身体に入ってもすぐに影響は出ない、時間を経て障害が出ると言われていたからです。ただ、東京は福島から十分離れており、今特別何かを心配する必要はありません。僕はマレーシア企業の奨学金で日本に来ています、僕が先に来日して日本の安全を親や後輩たちに力説しました。その甲斐あってか後輩たちは全員日本に戻ってくることが出来ました。ただしもちろん、みな原発のことは心配しています。留学生が安心して勉強ができるよう、ぜひ早期の解決をお願いします。



東日本大震災 関係者からのお見舞いの言葉

3月11日、三陸沖を震源とした M9 の大地震と津波により未曾有の災害が引き起こされた。そして福島原子力発電所の故障と水素爆発のニュースは瞬く間に世界中を駆け巡った。日本はどうなるのか!? 第2の故郷日本、そして ABK を案じ、各国の ABK 関係者から安否の連絡が入った。

3/11 Maliwan Dejaritt (タイ; タイ ABK & AOTS 同窓会事務局長)

How are you? I read news about the earthquake in Tokyo, the biggest in 7 years. Hope ABK team and students be safe. Take care,

3/11 Matt Vichitvejpaial (タイ)

How are you? Hope you are alright. Take care.

3/11 Pisan Thanatavee (タイ)

こんにちは。ご無沙汰しております。バンコクのピサーンです。先程ニュースで、日本で大地震、津波があったそうで、東京の電車も停まったようですが、皆さんは大丈夫でしょうか? 大丈夫だったら、時間が取れる時に連絡をお願いします。

3/11 Sivaporn Sirilatthayakorn (タイ)

地震のお見舞いと ABK 関係者の安否確認のお電話をいただきました。

3/12 A.P.Wagle (インド; ムンバイ同窓会会長)

地震のお見舞いと ABK の方々の安否の問い合わせのお電話をいただきました。

3/12 崔相龍 (韓国)

地震のお見舞い及び ABK 関係者の安否確認のお電話をいただきました。

3/12 韓英鳩 (韓国)

地震被災お見舞いと ABK 関係者の安否確認のお電話をいただきました。

3/12 C S Raghavan (インド; ムンバイ同窓会)

Dear All in Japan, Firstly we including my family and friends in India are rather shocked at the natural calamity which has come on our dear friends in Japan. We pray that you are all

safe, and that the ones still missing will return home to safely to their near and dear ones. We are with you in these testing times. Rest assured. Thanks and Best regards,

3/12 タン・ウィセン (マレーシア; 在シンガポール)

「大地震のお見舞いを申し上げます。ABK スタッフ皆様とご家族のご無事をお祈りします。」とのお電話をいただきました。

3/12 Wei Qing Ding (中国; ABK 同窓会 (中国))

I feel very sad to know that there was a very heavy earthquake yesterday afternoon in Japan, a lot of people lost their lives and also many people lost their home. Take good care of yourself and the people around with you. I will visit ABK with donation on June and see you all. Best regards to you and all Japanese people.

3/12 Ranganathan Mulvadi R (インド; チェンナイ同窓会会長)

What a sad day for all of us in the History of Japan. The damage and havoc caused by the fury of Nature on Northern Japan and the impact of it on the other parts is beyond human imagination. Myself, My family and the members of ABK AOTS DOSOKAI and Nihon Technology pray sincerely for God' s grace for helping everyone who has suffered during the hardest hours and for the people of Japan, Our friends. We cannot overcome the natural fury, but we can fight against the natural disaster with our engineering

skills and effort. We cannot overcome the natural fury, but we can fight against the natural disaster with our will power and effort. We ask God to give enormous amount of Courage and help to people of Japan. If there is something we can do please do let us know. We wish the people of Japan a very quick recovery in their economy, daily life, Health etc. I also hope you and your family has recovered from the shock and are doing better now. Kindly take care and Gamabatte kudasi in the hard times! Yours,

3/12 Sucharit and Gannigar K. (タイ)

We heard about the earthquake near Sendai. Taihen desu ne. How are the ABK's staffs? Hope that things will be recovered soon. With regret,

3/12 浅見博子 (在タイ)

地震の影響はありませんでしたでしょうか? うちの実家は、東京勤務の弟が家に戻れなかったくらいのように、千葉の両親は食器棚と居間の棚を支えあう余裕もあったようです。内房ですので、津波云々ありませんでしたし。しかし、大変なことになりました・・・いろいろ影響もあろうかと思いますが、お氣をつけて。

3/13 Ashok Saraf (インド; プーナ同窓会)

We hope that everyone is safe at ABK. How is your mother? Please take care. Our son Aalhad and daughter in law Makiko chan are in India now and hence are safe here. With best regards,

3/13 Savitri Vishwanathan (インド)

みなさま、御無沙汰しています。大地震と津波にかかっている日本の事情を聞いてから、皆様のことは大心配です。みなさまと御家族は無事でしょうか。遠いインドからなにもしてあげられないが無事でしょうか。日本人がなんでもがんばる精神を持っていて。絶望しないで回復することはわかっていますが、それまでの苦しみを耐えられるようにと祈っております。ご健康

を祈っております。

3/13 Waranchalee C. (タイ)

地震のニュースを見たんですが、大丈夫ですか?

3/13 蔡敏華 (香港)

ABKの皆様へ ニュースで日本の大変さが分かってきました。恐れ入りますが、厳しい中、何とか ABK の皆様も無事かどうか伺わせていただきます。これ以上被害が拡大しないことと早く事態が終息し、日本再建に立ち上がることを心から願っています。それでは。

3/13 Marcia and Roberto Marcia Ogawa Matsubayashi (ブラジル)

We are deeply sad with the recent big natural disaster. We hope all your family members, friends and beloved people are safe. Please extend my sympathy to all of them. Please let me know if ABK was injured by the earthquake. May God keep all of you safe and this is my inner desire at this very sad moment. Take care of yourself,

3/14 Ashok Saraf (インド; プーナ同窓会)

Thanks for the news that you are all safe. It is really unbelievable. We all are praying that Japan will come out safe from the current disaster.

3/14 Wong Meng Quang (シンガポール)

地震被災に対するお見舞いと ABK を心配するお電話をいただきました。

3/14 Pimpilai Lertphaiboon (タイ; タイ ABK-AOTS 同窓会会長)

Thai Dosokai committee would like to express our deep sorrow for earthquake in Japan, we hope everyone in ASCA are fine. Now many organization in Thailand who concern to Japan (Including Thai Dosokai) strengthen to rescue together. If ASCA have any suggestion to Thai Dosokai to do, please, do not hesitate to let us know. With our most sincere condolences,

3/14 Bhaskar Nirmala (インド; チェンナイ

同窓会)

Mina sama, Saikin no tsunami ni tsuite kiite kara, sugoku shimpai shite imasu. Kou iu toki ni do iu meru wo okuru ka to iu no wa wakarimasen. Machigai nani ka areba urushite kudasai. Shinbun de yonde daishimpai shite imasu. mina san to mina san gokazoku to shinseki no mina san mo daijoubu desho ka? Ware ware no ho kara oinori shimasu. oinori shika suru koto wakarazu, shirazu, komatte iru tokoro desu. Nihon to Nihon no mina sama no tame ni oinori shimasu. Wareware no ho kara dekiru koto naniga areba zehi oshite itadakere ganbrimasu. ki wo tsukete kudasai. yoroshiku onegaishimasu.

3/15 Niramol Chayutsahakij (タイ)

震災のお見舞いと安否確認のお電話をいただきました。また、タイからお米の協力と、赤十字 3000 人派遣が決まった旨何う。

3/17 Thitiwan Rasmikomain (タイ)

daijobu kana? renraku dekimasu ka?...I pray for you and everybody in abk. ki o suketekudasai.

3/17 Heng Fu Chong(マレーシア;在ドイツ)

地震被災お見舞いと ABK 関係者の安否確認のお電話をいただきました。

3/18 Priyarat Ma-in (タイ)

I hope you and your loved ones as well as Asia Bunka Kaikan people are alright. My heart goes out for the Japanese people. I'm sure you and your country fellowmen will be able to get through this hard time soon. Nihonjin wa gambare!

3/18 Pilaipan Mekaratana (タイ)

地震とスナミのことについて ABK の皆様は OK ですか。News をきいていますが、東京は OK みたいです。但し、現在、停電、食べ物の問題があるそうです。こちら、タイ人たちは日本をたすけるために、色々な活動を行っています。タイ人たち、ABK の学生及び私は政府に通って、

寄付しています。日本が第二番目の home です。もし、直接依頼があれば、ご遠慮なく知らせて下さい。Best regards,

3/19 Ronald Chao (香港)

We are so sad and distressed to witness the catastrophe in Sendai. We all pray that it will be over soon and thing will gradually return to normal. As you put it very well in your email, we are certain that Japan will prevail. Best regards,

3/20 Sam De (インド;在 USA)

Ogiso San, I hope you and your family are doing well in Tokyo. I am thinking about you and Kudo san. American Television is broadcasting about horrific disaster in Fukushima, Send ai, and Northern part of Japan. It is out of my imagination. As you know I lived in Fukushima and Korima area for two and half years. What I have seen live in TV it is very sad day for the people of Japan. Japanese hospitality, kindness, and sincerity extended to me during my living in Japan which I will never forget. Your kindness and hospitality is highly appreciated. I am praying for Japan to come back as strong country. Please send me Guarg san email address. O genki de. Email wa matte masu kara. Romaji de kaite kudasai. Domo arigato gozaimasu. (Atlanta, USA)

3/20 Budhi Kohar (インドネシア)

Ogenki desuka ? Jisshin no eikyo wa arimasen ka ? I hope all members of ABK management and staffs are ok? Yoroshiku,

3/21 Melani Jofatma (インドネシア)

I fell that ur country in trouble....but we know all of the world will care about that. We will support and always pray for it. At my Facebook.....I suggest my student Pray for Japan. Ur email I'd forwarded to Dhani san wife (Roswita)may be they can contact u too as soon as possible.

Can I get ur handphone number ? How about ur family? Yoroshiku onegaishimasu....I remember 28 years ago when I spent night at ur apartment the earthquake there made me shocked....so I can image the people in Fukushima. If u want to go to Indonesia please stay at my home. Love u. We fell that ur country in big trouble , but we know all the world will care about that. Ie will support and always pray for it. At my Facebook ...I suggest my students Pray poor Japan. Ur email I'd forward to dhani san's wife (Roswita san) , maybe she/he will email u as soon as possible. Can I get ur handphone number ? How about ur family ? Yoroshiku o onegaishiimasu....I remember 28 years ago when I spent night at ur apartment the earthquake there made me shocked....so I can image the people in Fukushima. If one day u want go to Indonesia please stay at my home, it always open to u. Love u. Melani, Robbi and Esther.

3/21 Sirinoot Boonsuk (タイ)

It may be late to ask How you are! I hope you and your loved are okay. Please take care of yourself and family. I'll pray for you and Japanese people will be alright soon. Hope next cherry blossom bring best wish to you.

3/23 趙允珠 Cho Yunju (韓国)

この度の東北地方地震などによる災害により、多くの方々が犠牲になったことに哀悼の意を表します。東京の方は大丈夫だと聞きましたが・・・早速ですが、予定通りですと、日本に帰る日は18日(金)ですが、地震などで続々留学生が韓国に戻り、学校の授業も1ヶ月遅れ、5月から始まります。このような状況の中、両親の心配のため日本に帰ることが遅くなり、4月1日(金)に帰ることになりました。早めにお知らせすべきでした。申し訳ありません。計画停電などで不便な日々が続いていると思いますが、どうか

お体にお気をつけてください。よろしく願います。

3/24 水馬・橘・愛子 (在ブラジル)

ABKの皆様 このたびの地震 津波は本当に大変なことですね。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。ブラジルの日系社会のみならずブラジル社会全体にも大きなショックを与えています。あちこちで義捐金も集めています。特に日系人社会では日本文化協会、援護協会、都道府県連合会、各種のサークル、とありとあらゆる団体が義捐金を募っています。ABKからの寄付依頼はすでに何人かのひとにメールでおねがいしましたが 日本語も英語も分かりにくいからおもいますのでだいぶ前から山内さん(公証翻訳人でもあられるので)にポルトガル語訳をおねがいしているのですがまだ出来上がっていません。当分地震災害のほうに皆の目が行っていますので ABK への寄付依頼はむつかしかと思いますのでしばらく、ほとぼりが冷めるのを待とうと思います。どうぞあしからず・・・。まだまだ余震が続いているようですし放射能の問題が大変ですね。くれぐれもお体お気をつけください。

3/24 柳瀬修三 (在タイ)

同友会の皆様この度の東北、関東大地震での震災の大きさに驚いています。TPA、同窓会、留学生会、大使館、日本人会、他タイの各種機関で日本を支援したいとの運動が毎日行なわれています。被災地での救援活動と福島原発の対策が進展することを見守っています。最初にこの地震の報道に接した時仙台-田中さんが長年住まわれていたところだったことが頭を過ぎりました。被災されなくて良かったと思うと同時にご友人、関係者で被災された方が出ているだろうと心配しています。日本に住んでいるタイの留学生他が戻ってきているニュースも報道されています。早速ピラットさんから連絡があり、ABKの皆様と建物で被害が出ていないかと

の問合せでした。佃さんからメールが入り、皆様お元気だとお伝えしました。日本はこの大きな災害に丸一丸となって乗り切ってくれるだろうなんて話していますが被災された人達のご苦勞を考えると外地で生活している私達が気楽に云えることではなく、静かに応援するのみです。早くいつもの生活が戻ることを願っています。

3/25 賈蕙萱 (中国)

3、11大地震により、ご心配とご愁傷様でした。こちらは中国の最南端である海南島へある大学の日本文化デーに参加して今夜帰って来たばかりでした。皆様の御電話やメールアドレスなどを持って行かなかったのが、慰めを遅くして申し訳ございませんでした。私ははるばる北京から超大地震の中で他界された方々に冥福し、失

踪された方々に生還のため、祈祷致します。ご健在の人々と励まし合って共に頑張っていきたいと思います。自然災害に見舞われたら、われわれは地球村の村民ですから、我彼を分けず、同舟共済すべきです。微々たる力ですけれども、必要な所があれば私にお声掛けてくださいませ。友人 敬具

4/12 蔡綽芳 (台湾)

こんにちは、私は622号室の蔡です。今度日本は大地震を受けて、台湾のみんなでも日本の状況を心配しています。私は台湾の旧暦新年から台湾へ帰り、しかしちょっと要事があり、まだ台湾に滞在しています。ABKは震災後寮の人々の安否を確認したいかもしれませんが、そして私の状況を報告します。

<情報提供のご連絡>

★東京都国際交流員会から

ホームページに日・英・中・韓4ヶ国語で今回の地震に関する情報が掲載されました。
<http://www.tokyo-icc.jp/>

★カイ日本語スクールから

カイ日本語スクール(Kai Japanese Language School; 山本弘子代表)は今回の震災後、学校で原発事故に合わせ説明会を実施しました。下記のWeb.は、原発の状況を把握する上で大変参考になります。カイ日本語スクールが当該の外国人留学生のために、原子力の専門家に作成してもらった「福島原子力発電所の事故についてより正確な理解のために」というプレゼンテーション資料です。とてもわかりやすい説明になっています。

英文 http://www.kaij.jp/pdf/Accident_at_Fukushima_Nuclear_Power_Plant_eng.pdf

和文 http://www.kaij.jp/pdf/Accident_at_Fukushima_Nuclear_Power_Plant_jpn.pdf

★財団法人アジア学生文化協会 教育交流事業部

今回の震災を受け、地震関連情報のwebページを作成しました。

<http://www.abk.or.jp/emergency/news.html>

避難のために一時帰国している留学生、またはこれから日本に留学しようとしている方たちに、風評に惑わされずに冷静な判断を仰ぎたいということで、できるだけ正確なデータや情報を提供していこうというものです。掲載情報は全てオリジナルのデータソースにリンクさせています。掲載希望の情報、またはご意見等ございましたらお寄せください。



留学生の就活-Vol.V-

株式会社 パソナ P A S O N A

今回の「留学生の就活」は、総合人材サービスのリーディングカンパニーとして有名な株式会社パソナ（東京・千代田）にお邪魔して、グローバル事業部長の市川知之さんに留学生の就活に関するアドバイスはもちろん、人材のグローバル化を図る企業の姿勢といった点についてもお話をうかがいました。

——— 主に留学生に対してはどのような就職支援サービスを行っているか教えてください。

まず一つ目として、日本人同様にお仕事の紹介、企業からの求人案件を求職者の方にご紹介しています。

通常、企業が弊社のようなエージェンシーを活用して、新卒の方を採用することは、今まであまりなかったのですが、留学生の場合、どのように採用したらいいかわからなくて困りの企業もあります。そこで弊社では、留学生の募集から採用までをサポートさせていただいております。こうすることで雇用のミスマッチを防げます。

また、二つ目に私たちが行っている活動として、大学に出向き、留学生の方を集めて就職に関するセミナーを開いたり、キャリアコンサルティングを行っています。

通常、留学生の方々は日本の新卒採用の仕組みをあまり理解されていない事が多く、気がついたら大学4年生で、就職しなければと思った時にはもう就職活動の時期は終わっている、という状況なんです。そうしたことを少しでも解決しようと、大学の就職課と連携して、説明会を開催するほか、学校によっては個別面談ブースを設け、週に何回かキャリ

ア相談をさせていただいております。

また、これは一つ目のサービスに付随してありますが、留学生の方が母国での就職を希望される場合には、弊社29拠点のグローバルネットワークを活用し、帰国された後もサポートをさせていただいています。

——— 留学生、外国人の求人はどのくらいあるのでしょうか。

職務経験を持った方、つまり企業にとって即戦力となる人材に対する求人は多いですね。ただ最近変わってきたなと感じるのは、新卒の方の求人が増えているということと、これから帰国する方を求める求人が増えています。

この背景には、企業の現地化があげられます。コスト面などから企業は駐在員の数減らす傾向にあり、代わりに日本から母国へ帰国する方を現地にて採用しています。これにより現地採用された人が上の役職に上がって行くなど、キャリアアップするチャンスが増えていくことになります。

——— 留学生に聞くと、母国で働く場合も、待遇面は現地採用扱いではなく、駐在員扱いで戻りたいという声が多いようですが。

そうですね。みなさん駐在員を希望するのですが、企業からは現地採用の要望の方

が高いのが現実です。ただ、先ほど述べたように現地採用の社員にもキャリアアップするチャンスはむしろ増えているので、雇用形態にこだわらずキャリアを積んでいくことが大切です。

—— **新卒留学生の求人が増加しているということに関してはどのような理由からでしょう。**

新卒の求人は弊社の案件ベースですと前年の5割増しから倍くらいにはなっていると思います。理由としては、企業の現地でやりとりが増えてきていることです。また、例えば現地法人の長になる人は中国であれば中国人がベストですが、そこを今までは日本人が担ってきた。しかしそれでうまくいかず、いざ現地の人に任せる、となった時に、いきなり現地で中国人の方を雇っても日本本社とのやり取りがうまくいかない。もちろん企業によって異なりますが、一番いいのは日本の本社で中国人を雇い、何年かかけて日本での人脈を作ってもらったり、会社の理念を学ばせたり、商品知識をつけてもらった上で、中国に駐在員として送り込む、または転籍させる。このような手法を取り入れている企業が増えていることは確かです。

話はずれますが、現地法人が採用した人を逆に日本に1～数年間駐在させ人脈を作らせて、教育・研修を実施した後現地に戻すというケースもあります。インドに出ている大手メーカーは、年間数百人ほどのインド人を研修という名目で来日させているそうです。

—— **留学生の求人数において、文系理系の差はありますか。**

エンジニアなどの技術者は全世界的に不足しているので、どこの国においても高いニ

ーズがあります。機械工学や電気工学といった分野を出られた留学生の方は特に売り手市場になっています。

文系の方の場合も、全体としてのニーズは高いですが、新卒の方より職務経験のある方の需要の方が高いのが現状です。キャリアの方でニーズが一番多いのは営業、あとは財務・経理ということになります。営業職は社員を育てるのに2～3年は掛かるので、そこまで待てる、育てる体力のある企業は新卒採用を実施していますが、やはり即戦力を採りたいというのが実情だと思います。エンジニアを含めたこの3つの職種は、どこの国に行っても売り手市場です。

—— **留学生の採用について、企業側にアドバースしていることなどはありますか。**

企業からは、留学生はすぐに辞めてしまうとか、帰国してしまうという話を時折聞くのですが、例えば100人新卒がいて、留学生を1人だけぼつんと採用したら、すごく孤独感があると思います。そうした面を企業側がケアしていかないと継続して留学生に働いてもらうのは難しいのではないのでしょうか。

また、雇用する側と雇用される側はお金を出す側と労働力を供給する側という関係で両者は平等だと思います。ですから企業側も上からの目線ではなく、留学生の立場に立ちながら組織作りをしたり、心のケアをする必要があるのではないのでしょうか。

以上が大前提ですが、もう一つ、人事制度の見直しが今後の課題だと考えます。留学生には日本の評価基準やキャリアパスなどが見えにくい。人事評価については我々日本人でもわからないことがあります、外国人の方はなおさら分からないのではないのでしょうか。

その辺りはある程度明確にしてあげて、3年後にはこういうことができる、来年これが達成できたら次の年はこういうことをやってみましょうと、彼らはキャリアアップ思考が強いので、そういうところを汲み取って、生かしていかないと、せっかく日本に来てくれた留学生の方を生かせずに帰国させてしまうことになる。また、今後日本企業の海外進出が進むなかで、評価基準の見直しは現地採用を成功させる鍵を握ると思います。

もちろん留学生・外国人スタッフに100パーセント合わせる必要はないのですが、彼らのことを考えた組織編成に変えていったほうが、日本人も含めて組織全体が良い方向に向かうのではないかと私は思います。

—— 報告書の作成など、日本語で苦労している元留学生の話を聞きますが、日本語力についてはいかがでしょう。

アメリカであれば多民族が当たり前という環境ですから、英語が下手でもその点を考慮してくれる人が多いかもしれませんが、日本の場合は日本人の基準で見ちゃうので、やはり留学生は不利になってしまいます。ですからこのような日本の環境を踏まえ、日本語については自分で努力して少しずつレベルアップしていくことが必要かと思います。

—— 欧米企業に就職する場合と比べてやはり日本企業で働くというのは独特の難しさがあるということですね。

その人の母国の文化など、相手をリスペクトして受入れるという体制が欧米には出来ていると思います。アジアでも中国は、広い国土で南部と北部とでは人種も違うし考え方も違う。そうした中でみなさんその地域の考え方などを尊重しています。極端な話、外国と

仕事をしているような感覚でお互い接している。このような意識は日本ももっと高めたほうがいいのではないかと思います。

外国人はマネージするのが難しいと悩む企業の方の話を聞いていると、お互いの対話が無いケースが目立ちます。日本でのマネジメントスタイルをそのまま海外に持って行ってしまっているからうまくいかないのだと感じます。

海外では言葉に出してきちんと説明しないと相手に伝わらないというのがほとんどです。「みなまで言わずとも・・・わかるよな」というのは日本独特のマネジメントだと思います。外国人社員とのコミュニケーションを上手に図るにはこのような点を意識して、仕事を進める必要があります。

私たちは少しずつ「こういうふうに変えていかれたらどうですか」というお話は企業の方にさせていただいていますが、まだまだ時間はかかりそうですし、日本人、外国人双方の努力も必要となります。

—— では就活にあたって留学生としてはどのような努力をすべきでしょう。

私がお会いしてきた留学生の方々は、とても優秀でアグレッシブな上に日本の文化を理解し大切にしてくれている人たちばかりです。ですから、彼らがマインド面で変わる必要は何もないと思います。ただ一つ気をつけて欲しいのは、日本という国はすごく特殊なので、もう少し事前の情報を掴んでおくようにしないと、乗り遅れてしまうということです。

あと一点言うと、読み書きを中心に日本語については出来るだけしっかりやっておくこと。日本人より日本語がうまい留学生の方も大勢いますが、企業からも日本語の読み書き

のスキルの確認はお願いされることが多いので、そこはしっかりやられておいたほうがいいと思います。

特に英語での授業がメインの大学もありますから、そういった学校の学生の方だと日本語が苦手という方も多い。その点で就職活動が不利になるケースもあります。もちろん勤務地が国外の支社の場合など、英語ができればチャンスはありますが、日本で就職をするのなら、それなりの日本語が必須という現状は、しばらくは変わらないでしょう。

—— パソナ グローバル事業部としては、今後どのような展開を考えているのでしょうか。

弊社では、人の動きに国境はないと思っています。ですから、留学生に限らず、海外に出て働きたい方、逆に外国の方で日本に来て働きたい方のキャリア支援も積極的にやりたいと考えています。例えば、「インドで働きたい人を募集」といった具合にですが、それはインドに帰るインド人でも、インドに行きたい日本人でも、またいま日本にいる中国人で

インドに行きたい人でもいいですね。そういう方を対象にセミナーをやったり、ジョブ・フェアを開催するなど、今年はグローバルなキャリアに出会う機会の場をたくさん設ける予定です。

—— 最後に、これからの留学生の日本就職について、どのようにお考えですか。

これから日本企業はアジア、アフリカ地域での事業を益々強化するでしょう。そういった時代にあって、今の留学生の方にとってこの流れはすごくいいチャンスです。留学生の語学力やキャリアアップ思考というのは、今の日本の企業が目指している方向と合致するものだと思います。中には自分はビザを変更・更新しないといけない立場であるということを引き目に感じている方もいるようですが、企業にとって、それは負担ではありません。逆に留学生であることを強みだと考え、就職活動を行ってください。

—— 本日は貴重なお話をお聴かせいただき、ありがとうございました。



★ (株) パソナでは、留学生の就活に関する相談を受付けている。

☎ 03-6734-1270

同社のホームページ

<https://www.pasona-global.com/>

からメールマガジンの登録を行えば、ビザ情報、先輩留学生の体験談、企業情報、イベント情報など、留学生のための就活情報を受けとることができる。

←パソナ グローバルのトップページ

<https://www.pasona-global.com/>



しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

■ 東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金

対象: ①「留学」の在留資格を有する私費留
がくせい ②日本の大学(学部)、短期大学、専門
学校の1、2年生 ③主としてアジア、アフリ
カ、東欧、ラテンアメリカ地域からの留学生
④面接および東京YWCAでの年3回の報告会
にすることができる ⑤年間総額36万円を超
える他の奨学金またはそれに類するものを受
けていないこと。

給付金額: 月額30,000円

給付期間: 1年

募集人数: 15名程度

申込書入手方法: 募集要項・申込書はホーム
ページよりダウンロード可能。または「母

親運動事務局へ直接取りに来るか、住所・
氏名を書き、80円切手をはった返信用封筒
(定型)を同封の上、郵送で請求する。

募集期間: 5月6日(金)～5月20日(金)
(消印有効)

応募方法: 本人が事務局まで郵送する。また
は直接事務局へ届けてください。(最終日の
受付けは17時まで)

応募・問合せ先: 東京YWCA「留学生の
母親」運動事務局 奨学金小委員会

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11

Tel 3-3293-5424

URL <http://www.tokyo.ywca.or.jp/ryugakusei/index.html>

しょうほう イベント情報

へいせい だいがくとうそつぎょうよていしゃ がいこくじんりゅうがくせい きぎょうせつめいかい 平成24年3月大学等卒業予定者(外国人留学生)企業説明会

がいこくじんりゅうがくせい せつぎょうさいよう きぎょう たすうさんか
外国人留学生を積極採用する企業が多数参加し、ブースでの人事担当者からの企業説明および
りゅうがくせいしゅうだん しつぎょうとう おこな にゅうじょうじゅう さんかむりよう
留学生集団へのブリーフィング・質疑応答を行います。入場自由・参加無料です。

<日時> 5月20日(金) 13:00～16:00

<場所> 大宮ソニックシティビル 地下展示場 (大宮駅徒歩3分)

<対象者> 平成24年(2012年)3月新卒予定の大学生・既卒者(外国人留学生)等

<主催・問合せ> 埼玉労働局職業対策課 Tel 048-600-6209

外国人留学生・キャリアのための合同説明会

グローバルな企業を集めた就職説明会です。学校・仕事が忙しい方も、ゆっくりと企業の担当者と話することができる絶好のチャンスです！

＜日時＞ 6月20日（月） 11:00～17:00

＜場所＞ 新都市ホール（横浜駅東口 横浜そごう 9F）

＜対象者＞ 外国人留学生、外国人キャリア

＜主催＞ 神奈川新聞社、日経ブレイン

＜URL＞ <http://www.ryugakusei-job.com/index.html>

MEMBERS

＜ご入会とご寄付の報告＞

2011 年 2 月

正会員

(2口)
佐藤 順子 浜松市中
(1口)
増井 潤一郎 中野区
H. DESBOIS フランス
真利子 知之 中野区
山海 保 葛飾区
中村 尚司 京都市
アジア・コミュニティ・センター21 文京区
横山 昌幸 千葉市
楊 青雲 江戸川区
田中 武雄／多美子 我孫子市

2011 年 3 月

賛助会員

布施 知子 目黒区

正会員

(3口)
加倉井 弘行 豊島区

(2口)

清水 勇治／泰代

林 均

(1口)

植田 泰史

小野寺 武夫

星野 陽子

石川 清子

村田 忠禧

渋谷 寧伸

萩原 伊助

清水 国夫

酒井 杏郎

伊藤 順安

白石 勤

久保 哲也

大井 裕子

田川 明子

神谷 尚代

野口 明美

飯沼 英郎

(財)守屋留学生交流協会

竹田 肇／和子

杉原 正勝／バーバラ

東京都市大学

泉 憲子

中曽根 信

坪井 健

高道 俊彦

高崎市

横浜市

那珂市

国分寺市

青梅市

渋谷区

川崎市

西宮市

千葉市

中郡大磯町

大田区

墨野市

千葉市

北区

さいたま市

港区

浜松市

三鷹市

鎌倉市

千代田区

中野区

八王子市

横浜市

日野市

中標津町

横浜市

富山市

駒場 一成

丸井 英二

柏原 きみ

漆畠 敏治／才子

岩佐 佳英

是松 恭治

吉原 エツ子

田中 泉

開 康寛

杉本 宏樹

鈴木 順子

張 延

西谷 隆義

堤井 信力

稲垣 敏彦

高 秉沢／姜英園

李 景珉

関川 弘司／郁子

大田区

文京区

北区

小山市

文京区

横浜市

始良市

練馬区

墨田区

杉並区

須賀川市

取手市

土浦市

横浜市

湖西市

大阪市

世田谷区

千葉市

ご寄付

栗原 静子

小山内 美江子

増田 澄

大谷 里恵子

増村 昭子

気仙沼市

横浜市

文京区

藤岡市

広島市

たくさんのご協力あり
がとうございます

ご報告

ABK同窓生募金 (2011 年 3 月 31 日現在)



ご協力ありがとうございました。募金のご報告は『アジアの友』並びに同窓会ホームページ
<<http://www.abk.or.jp/abkd/fund/houmeiroke.html>>で随時ご報告させていただきます。

●目標額：5,000万円

●募金額：12,371,051円

●寄付者数：254件

〈 〉内は出身・在住国、地域、ABC 順。日本のみ五十音順

〈中国〉Ou Yang Fei 欧陽菲 (在日)、Wang Wen 王穩

〈香港〉Choi Man Wa 蔡敏華

〈インド〉雅留宮久磨 (在日) / 澄子 (日本)

〈日本〉伊藤順、稲垣敏彦、岩佐佳英、畝本昌介、大谷里恵子、小木曾大、小木曾友、北マツ、久津間優子、黒田一雄、香月恵美子、渋谷寧伸、白石勤、高道俊彦、竹田肇・和子、谷口哲雄、土屋幸子、外山経子、西谷隆義、秦幸吉、松崎松平、村山秀男、山海保、山口憲明

〈韓国〉崔銀珠、Youn Seong Kook 尹誠國

〈マレーシア〉Chiu Jin Eng 冰周人英 / 林恵冰、Tan See Seng 陳時生、Tiang Chuan Seong 鄭俊雄

〈タイ〉Itti Rittaporn、神崎ソラダ (在日)、Mongkol Pianapitham、Prayad Kongkasawad、Suthee Chutchaiwett

〈台湾〉Chen Ai Chi 陳艾圻

〈ヴェトナム〉Nguyen An Trung

以上、40 件

2011 年 1 月 31 日以前の寄付者 (214 件)

〈バングラデシュ〉A.K.M. Moazzem Hussain、橋本イスラム・ヌルール

〈中国〉賈輔忠、蔡堅平、郭南燕、李春利、Meng Xiao Xiao、全浩、Zhou Xiang、可軍 (広中軍二)、呂新一

〈カナダ〉張素華 (香港)

〈香港〉梁志瞬、YEUNG KING HONG 楊経航 / 蔡金燕 (マレーシア)

〈インド〉AAAWI(AOTS Alumni Association of Western India)、ABK-AOTS Dosokai Chennai Center、A. P. Wagle、Abul Sharah、Ashok Saraf、M. Ramamurthy

〈インドネシア〉Budhi Setiawan Kohar

〈カンボジア〉忍足林基 / 美恵子 (日本)

〈日本〉新井重光、池添尚行、池野朋彦・晶子、伊佐玲子、石原誉慎、石原廣、井上恵子、井上駿、石井信彦、

上高子、植田泰史、漆畠才子、大久保伸枝、小木曾建(2)、小木曾友、奥山節子、奥山義夫、小野寺武夫、小原正敏、加倉井弘之、川上剛、北川泰弘、北原千絵、北山文泰、工藤正司、工藤幹夫(2)、久保哲也、栗原静子、小林泰子、金野隆光(2)、早乙女和義・博子、佐藤正文、佐藤玲、清水勇治・泰代、栖原暁、高木桂子、高道俊彦、高野靖子、高橋喜久江、高橋作太郎、高柳直正、田川明子、田口昌子、竹林惟允、田中多美子、田中美智子、田守智恵子(2)、近山武子、鶴尾能子、鴛田純一・由美、堤祐子、外山経子(3)、中曽根信、中島正喜、中原和夫、西原彰一、西本梶、忍足絵美、忍足眞理、野村美知子、樋川好美、平井まりこ、平岡明子、平峯克、福譲二、藤原一枝、布施知子、細川哲士、堀香奈美、堀幸夫、堀内智代子、横操、松岡弘、山口憲明、山之内正彦・萩子、湯山佳代、依田良子、吉田菜穂子、吉田裕子、吉原エツ子、六文会、渡辺譲二、匿名希望(3名)、50周年委員会売上

〈マレーシア〉Ang Wan Leng、Beh Teck Chuan、CHANG CHEW CHIN 張昭成、CHEW CHONG SENG 周昌盛、CHIA LITECK 謝礼得、CHONG TECK FOO 張德福、EE LEY TIONG 余励忠、FOO MING LIAN 符明蓮、FOO SIANG SENG 符祥盛、FOO SOO KONG 符素光、HEONG SEE YONG 香世運、KENNETH WONG 黃復翔、LEE KIAN LING 李建霖、LEE KONG/LAM CHOK YAK、LEE MIOU YING 李妙英、Lee Tee Boon、LEONG KEE HUO 梁其和、LIEW TECK BOON 劉德文、Lim Hock Lai、LIM SIN YEAN 林欣燕、LOKE HON YEE 陸漢宇、LOW KIM LEE 劉金莉、NG TIAN ENG 黃殿英、ONG CHENG CHUAN 王清川、ONG CHOOI LEE 王翠莉、PANG CHOON BOON 彭俊文、POH SIEW HUI 傅秀慧、Seah Boon Chieng、SIM KEE HONG 沈其豐、Soon Sai Kheng、SOO SECK HENG 蘇錫興、SU KUI SHENG 蘇桂昇、Tan Cheet Yong、TAN KEEHANG 陳繼漢、TAN SOO SIN 陳素芯、Tan Wee Pin、Tan Wee Seng、TANG ENG HUAT 陳永發、TENG KIM YIN 鄧錦雲、TEO KWEE SWEE 張貴水、Toh Leong Chee、WONG FEE PING 黃慧萍、WONG SENG KENG 黃成耕、WONG TZONG CHYANG 黃宗強

〈ペルー〉Olga Shimada Keiko

〈パキスタン〉A.R.Siddiqi

〈シンガポール〉Foo Choo Wei、顔尚強、王舜其

〈台湾〉Liu Li Mei

〈タイ〉浅見博子(日本)、Bandihit Rojarayanont、Chamlong Srimuang、Chanintorn Mekaratana、Chovet Yimsirikul、Ditdi Chatputtongul、Gannigar Koontanakulvong、Kornkeo Praisontarangkul、Krisada Visavateeranon、Meena Thamchaipenet、Navarat Srisuponvanit、Niramai Thanatavee、小野崎忠士(日本)、Patamavadee (Bongsayan) Narushiso、Phiphat Chaichanavichakij、Pholchai Limviphuvadh、Pilaipan Mekaratana(2)、Pisan Thanatavee、Pornanong Niyomka H.、Prayoon Shiwatana、Saowanee Patrakarn、Sathida Mekaratana、新宅光(日本)、Sivaporn Sirilatthayakorn、Sucharit Koontanakulvong、Suchittra Hunbuncharkit(2)、Supong Chayutsahakij、Suvit Vibulsresth、Tana Tangtrongsakdi、泰日経済技術振興協会、泰日工業大学 (THAI-NICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY)、Vachiranee Limviphuvadh、Vachiraporn Limviphuvadh、Virat Thiravathanavong、Wannadee O'sorup、Wiwut Tanthapanichakoon、柳瀬修三(日本)、Yoshiko Limviphuvadh(日本)

〈アメリカ〉宮下偉路(趙偉路; 中国・日本)

〈ベトナム〉Dao Thi Minh、Le Quynh Chi、To Buu Luong、Tran Thanh Viet

募金に関するメール

*メールの日付、氏名(在住国・地域)

2/1 小木曾友

山内淳様、水馬・橘・愛子様 ご送付をお約束していた「ABK ブラジル同窓生」の住所(及び電話番号)一覧表を作成しましたので、別添 Excel File でお送りします。この表について下記にご留意下さい。1) ABK にかつて居住したことのあるブラジルの留学生、研修生の記録を全部調べましたが、その結果がこのリストです(48名分)。住所も現在は変わっているかもしれませんが、そのまま載せてあります。住所のないものは残念ながら ABK に記録が残っていないものですが、お名前だけ載せました。もしかすると、そちらでお名前から連絡先がわかることもあるかもしれないと思ったからです。2) Excel 表の下段の index の「同窓会研修生」とあるページにある人は、かつて山内さん推薦の同窓会研修生です。サンパウロ同窓会センターに当時の記録があるでしょうか。記録が残っていれば、連絡先がわかるかも知れないと思い、氏名と研修会社だけを載せました。3) 表中、Honma Harumi(本間晴美)さん、Tasato Mieko(田里美恵子)さんは ABK との関係が深い方なので、いろいろな方々と連絡があるかもしれません。ぜひ、連絡を取って、協力をお願いしてください。4) そちらで独自に連絡のつく方には、ぜひご連絡くださいますようお願い申し上げます。ご多忙のところ本当に申し訳ありませんが、ABK 同窓生の方々にぜひ一人残らず知っていただいて、今回の募金の趣旨をお伝えいただきますよう、何卒よろしくお

願い申し上げます。(なお、募金の現在の状況については、下記 ABKD ホームページをご覧ください) <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/preindex.html>

小木曾友(財)アジア学生文化協会(アジア文化会館) 理事長・校長

THE ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION (ASIA BUNKA KAIKAN - ABK)
〒8642-113 東京都文京区本駒込2-12-13
E-Mail: bxh04076@nifty.com TEL:03-3946-4121 FAX:03-3946-7599 <http://www.abk.or.jp>
(アジア学生文化協会) <http://www.abk.or.jp/abkd/e/index.html> (アジア文化会館同窓会 ★アジアをつなぐヒューマンネットワーク A B K ワールドへようこそ (<http://www.abk.or.jp/abkd/index.html>) ★ ABK 同窓生募金にご協力ください (<http://www.abk.or.jp/abkd/fund/preindex.html>)

2/1 山内淳(ブラジル、サンパウロ同窓会会長)

小木曾様 住所一覧表大仕事でしたね、有難うございます。愛子さんや他の人と相談して出来るだけ多くの人が協力するようにやってみます。

2/2 小木曾友

山内淳様 早速、ご丁寧なご返事を有難うございます。今回の募金の主目的は、勿論、目標金額を達成するということのほかに、「ABK がそういうことをするなら、喜んで協力した

のに、知らなかった。何で知らせてくれなかったのだ」という方が 1 人でもおられないようにすることです。大変お手数ですが、ぜひ、ご尽力下さるよう、よろしくお願いいたします。

2/4 蔡敏華 (香港)

小木曽校長先生へ 春節オメデトウございました。さて、ご連絡をありがとうございます。お返事が遅くなってしまい、大変申し訳ありません。間もなく、A B K が次の段階に進もうとするということですね。そうした情報が耳にすると、大切な一年間を A B K で過ごさせていただいた私にとっては、活力にもなりました。在日中、A B K の皆様に終始助けていただき、いろんな困難も乗り越えることができました。これから、ABK の将来にかかわる建設にぜひ参加させていただければ幸いです。差し支えなければ、来週以降、銀行振込みかクレジットカードで送金させていただきたいと思っています。まだ年始とも言えるこのたび、A B K が次の時代に順調に入ることを祈っております。それでは。2008 年の卒業生 (S 7)

2/4 小木曽友

蔡敏華様 春節おめでとうございます。ご返事ありがとうございます。蔡さんもお元気のように何よりです。立派な日本語のメールを拝読し、感動しました。ABK の次の 50 年のため、ご協力くださるとのこと、本当にうれしいです。今後とも、どうか、お元気で活躍ください。

2/5 蔡敏華 (香港)

小木曽友校長先生へ お返事をありがとうございました。私はこれから習い直さなければ

いけないのは日本語だけでなく、入念さだと思っています。立派な校長先生の前に本当に恥ずかしかったです。大人ながら、そこまでご迷惑を何度もかけてしまい、本当に大変申し訳ありません。油断大敵。これからぜひ気をつけようと思っています。

2/7 Maliwan Dejaritt (タイ; タイ ABK & AOTS 同窓会事務局長)

How are you? Now the fundraising project for ABK new building is running. There are 3 events during March to June 2011 with cooperation of ABK Dosokai in Thailand. 1. March 9, 2011- Dinner Talk on 'Innovative Organization for Sustainability led by TPA2. By end of March - Golf Invitation led by TPA3. June 19, 2011 led by ABK&AOTS Dosokai Afternoon: Seminar and Business Matching of Thai SME and Japanese SME. Evening: Cultural Night with Theme ' One Night at Asia Bunka Kaikan' (all participant wear Yukata) ABK&AOTS Dosokai us also in charge of Sponsorship for the all events. I need your help as the following; 1. list and address of ABK Dosokai in Thailand. 2. Do you have a photo of new building that I'll put in the presentation? 3. Do you have a old photo at ABK that I want to design the cultural night mood? 4. For sponsorship, is it possible for who give a big donation will have their name at the building? That's all for now. Thank you so much. Best regards, Maliwan

2/10 小木曽友

陳驚雄様 Chan さん、お元気ですか。香港・マカオの同友会では本当にお世話になりまし

た。とても楽しく、まるで夢のような3日間でした。今年は東京ですね。どういう会にしたらいいか、原口さん、阿部ちゃん、リムさんなどとよく相談します。ところで、今度、Chanさんに折り入ってお願いがあります。香港でもお話しましたが、今、ABKでは、老朽化したABKの建物の一部を日本語学校の校舎として新しく建てるため、「ABK同窓生募金 (ABK Alumni Fund)」へのご協力を、各国のABK OB・OGの皆さんにお願いしています。今年1月31日現在で、総額10,230,262円に達していますが、まだまだ目標の5000万円(2012年3月まで)にはほど遠いところにあります。そこで、各国のOB・OGの方々にあらためて、ご協力をお願いすることになりました。ABK日本語学校の香港卒業生の方々に別添ファイルのお願い文(和、英)をメールまたは郵送でお送り下さるよう、よろしくお願い申し上げます。別に、ABK日本語学校の卒業生(1983年度～2009年度)302人分の住所録のファイルを添付しました。(メール、及び本国住所は、日本語学校卒業時のものなので、古くなっているかもしれません。その点はお許しください) お忙しいところ、また、世界経済がきびしい折、大変恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。

2/12 贾蕙萱 (中国)

小木曾 友理事長・校長 本当にご無沙汰していますが、お元気で何よりもよろしいです。ABK同窓生募金を忘れず、努力してきました。私は10人動員して(中に私と娘、娘婿、学友など、ABKと関係のない方もいます。)、寄付のお金を陳洪真様に手渡しました。敬启

2/13 贾蕙萱 (中国)

私は募金の広告を書きました、金さんと陳さんと相談してから、私たちのネットワークに掲載する予定です。敬具

为翻盖留日人士的东京住宿募捐

尊敬的各位先生、女士 坐落于东京都内有一座亚洲文化会馆，系专门为亚洲留日学人提供廉价住宿的地方，中国人利用率最高。但是该建筑物已年久失修，原管理机构已立案翻盖，但须申请日本文部省预算。然文部省提出，希望往昔接受过恩泽的亚洲各国学人、愿为中日友好的贤达们也献上一些爱心，使其新建后更有国际意义，而且为后来居住者留下美德。

鉴此，现发起募捐活动，请曾经住宿过该馆、太田纪念馆以及后乐宾馆的人士或各界中日友好的仁人志士自愿捐助，起始额为人民币一百元(100元)、日元为千円。欲捐助者请与 金东瀚先生、陈洪真女士与联系

2/15 雅留宮澄子 (元ABK職員)

小木曾様 ご無沙汰しています。お元気で活躍の様子、嬉しく思っております。大変遅くなりましたが本日、些少ですが20000円送金させて頂きました。雅留宮は相変わらず海外出張が多く、今も中東方面へ出かけております。小木曾さん、健康には充分にお気をつけてABK日本語学校新校舎建設実現に向け頑張ってください。又、工藤さんをはじめ理事の皆様方も頑張ってください。私達ももっと協力出来る様にがんばります。

3/2 Ittii Rittaporn (タイ)

ABKの皆様 タイのイッティです。大変お世話になっております。大変遅くなりましたが、大変わずかながら協力させていただきました。今回の趣旨が多くの人に理解・賛同され、確

実で未来ある発展に結んでいけるよう心より祈っております。以上 よろしくお祈いします。

3/2 TPA 浅見 (在タイ;TPA 職員)

皆様 昨年小木曾さんと布施さんがタイに来られたときに撮ったビデオがやっとまとまり、TPA のサイトにのせております。http://www.tpa.or.th/tpanew/news/news.php?id=837 お時間がおありの際にご覧下さい。一生懸命削りましたが10分を超えてしまい、2部構成になっておりますので長めですが・・・。なお、写真は布施さんから送ってもらったものと佐藤さんからのものに、TPA のを足しましたので、ABK・AOTS・TPA の合作となっております。

3/4 柳瀬修三 (在タイ; 元 ABK 職員、元 TPA 出向)

小木曾友様 お忙しい中ご返事いただき有難うございます。2月末で募金額が1,000万円を越えたとのご連絡で小木曾様他皆様のご努力の結果だと思ひます。ご苦勞様です。3月9日(水)のDINNER TALKに参加します。小木曾様からご連絡いただいた後浅見さんからもご案内がありました。浅見さんからの情報で当初参加者が少なかったのですがここに来て参加者が集まって格好が取れるようになったとのこと。当日の様子はいつもの通り浅見報道官よりレポートがあると思ひます。3月20日(日)に吉田さんと秋元さんの歓迎会を浅見さんが手配されています。場所 ニューグレート上海 18時より。在タイのいつ

ものメンバーが集まります。吉田さんご苦勞様でした。秋元さん宜しくお祈いします。浅見さんから小木曾さんインタビューのビデオが送られてきて拝見しました。このビデオをABKのホームページでも見れると良いですね。(私のボーとした写真が何ヶ所かに出ていて恥ずかしいです。)

3/4 Tan See-Seng 陳 時生 (マレーシア)

Thanks for your email and wonderful photos. I was glad to go back to ABK and meet "old friends" especially Sakurai san. Let's keep in touch and meet again either in Tokyo or KL. I would like to say that you guys do a good job for ABK and please keep up your good work. All the best,

3/11 Maliwan Dejaritt (タイ; タイ ABK & AOTS 同窓会事務局長)

Our friends at ABK, ASCA, Thank for your update. General Thai people also worry about the unexpected damage happened to Japanese people. I read many many opinions from Internet. Last Wednesday, the first Funding Raising activity, Seminar on Innovative Organization for Sustainability, leaded by PTA with cooperation with Dosokai Association & TNI, was successful. The second one, Japanese Cultural Night: One Night at Asia Bunka Kaikan, hosted by Dosokai Association will be on June 19, 2011. We'll keep you update. Take care,

募金来館

3/24;マレーシアのTan See Seng(陳 時生;ABK日本語学校1987年卒)が約20年ぶりに来館。日本語学校同級生の楊青雲さんと来日の忙しい時間を調整し、ABK 同窓生募金にいらしてくださいました。

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人です。財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設 立：1957年（昭和32年）9月18日

故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

日本留学生情報データベースサイト

JAPAN STUDY SUPPORTがパワーアップ!

<http://www.jpss.jp>



大学、大学院、奨学金等の検索が更に便利に!

後 記

3月11日午後2時46分頃に三陸沖を震源としたM9.0の地震を境に多くの人の命が奪われ、九死を得た人の多くも家が、生活のすべてが奪われ一変した。更に、福島原発の機能停止と放射能漏れにより目に見えぬ、これまでに経験したことのない不安な日々を送らなければならないことを余儀なくされている。この時期に日本に留学している各国からの学生も、当然この災禍に巻き込まれている大地震とそれにより引き起こされた原発の放射能漏れにより、春休みも重なったこともありかなりの数の留学生が、母国の家族に促され一種のパニック状態で一時帰国/帰国をした。アジア文化会館も一時期ひっそりとしてしまった。50年を経た会館も初めての経験である。いつも若いエネルギーの満ちた会館がどんなに素晴らしい場であったと改めて思う。アジア文化会館は、50年を経た建物で、地震後海外からのたくさんの同窓生から心配するメールや電話が入った。幸い、地盤が強いのか建物には亀裂も見当たらない。とりあえず、ご安心ください。こうした状況の中、留学生の中で、いろいろな機会を得て被災地入りした3人の方にインタビューでき、被災地の様子、避難所暮らしの様子、ボランティア活動等々、様々な体験を語っていただく好機を得た。(F)

アジアの友 2011年4・5月号

2011年4月20日発行（通刊第490号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 500円（税込）

発行人 小木曾 友
編集 アジアの友編集部
発行所 財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)
電話番号 : 03-3946-7565/4121 ファクシミリ: 03-3946-7599
振替口座 : 00150-0-56754 E-mail: tomo@abk.or.jp
ホームページ: (<http://www.abk.or.jp/>)
published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-7565/4121 ☎+81-3-3946-7599
Email: tomo@abk.or.jp
Home Page: <http://www.abk.or.jp/>

「アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000円）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

「ABK 同窓生募金」へのご協力のお願い

(財) アジア学生文化協会では、現在、下記の通り、「ABK 同窓生募金」を行っています。これまで長年にわたって ABK と縁を結んだ方々皆様 (留学生 OB・OGをはじめ、日本人関係者) にご協力をお願いしています。なお、ご寄付して下さった方々は、そのお名前を、金額の多寡にかかわらず、記念銘板に刻印し、長く保存させていただく考えております。また、高額寄付者への顕彰を別途用意いたします。世界的な不況の折、誠に心苦しい限りですが、何卒、ご理解とご協力を下さいますようお願い申し上げます。

財団法人アジア学生文化協会 (ASCA)

理事長 小木曾 友

募金内容

1. 名 称 同窓生募金
2. 目標額 50,000,000 円 (伍千万円也)
3. 寄付金額 一口 10,000 円 < 一口未満でもお受けします。但し、一口未満の時は 1000 円以上をお願いします >
4. 使 途 ABK が設立する学校法人の「運営資金」に当てる (注)
(注) 学校設立には、校舎建設資金 (約 5 億円) のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」 (約 5,000 万円) を所有することが必要です。募金はそのためのものとします。
5. 募金対象 ABK と兄弟寮に居住したことのある各国 (在日を含む) 留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG (約 1,000 人)、ABK 日本語コースの卒業生 (約 4,000 人)、及び ASCA の日本人職員・会員等 (約 1,000 人)、並びに本募金趣旨に賛同されるすべての皆様
6. 期 間 2010 年 4 月 1 日から 2 年間
7. 送金方法 次の 1)、2)、3) のいずれかの方法で、ご送金下さい。

1) クレジットカード決済による送金 (下記ウェブサイトで手続きできます)

寄付のお申し込み <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/fund.html>

* セキュリティ上の必要から、1 回の送金は上限 300,000 円 (参拾万円也) をお願いします。

2) 銀行振込みによる送金 (下記銀行口座にお振り込み下さい)

銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店
口座番号	普通預金 NO.2789045
口座名義	財団法人 アジア学生文化協会
住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121

3) 郵便振替による送金

郵便振替口座	00150-0-56754
加入者名	財団法人 アジア学生文化協会

* 振替用紙は「アジアの友」に挟み込まれています

お問合せ先: (財) アジア学生文化協会 50 周年記念事業委員会事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館

Tel.+81-3-3946-4121 Fax.+81-3-3946-7566 E-mail: asca50com@abk.or.jp